

テリノスは闇に包まれている。夜の帳が降りている。王国の最古の敵が戻ってきて、すでに男爵領は粉々にされてしまった。もう1つ災害が起これば、王国には致命的な打撃となるだろう。

しかし、これらの悪に対して立ち上がった思いがけないヒーロー達があらわれた。様々な炎より生まれた彼らは、テリノスの最北端の男爵領であるフォーシンの生き残りをかけて戦う。そうすることで、彼らはともに団結し、世界を変える伝説を作り上げるのだ。

## テリノス：驚異の大地

テリノスは素晴らしい美しさと大きな危険の土地である。モンスター達は太古の偉大な文明の遺跡に出没し、壮大な宝物の貯蔵庫を守っている。野生のドラゴンは卵を暖め、アンデッドは霧のベールの奥に潜み、ウスクのデーモン・バーバリアンは荒野を闊歩する。

幾十の国から来たヒューマン、ドワーフ、オーク達は、王国全体に散らばっている自由都市に集まっている。これらの混雑した通りにおける共通言語は商売である。そして最高の美德はゴールドだ。一方、周辺の男爵領では、封建領主、自作農達が自分たちの土地を守り、そして遙かな過去に死んだダカン王の高潔さと名誉を擁護している。

## 広い世界

テリノスの国境の先の世界は謎と驚異に満ちている。ザナガの深いジャングルは眠る神々を隠している。アルカリムの黄金の砂は輝く太陽の下で揺れる。トルエアルベスの海と波は大胆な冒険家達を財宝か災厄へと連れていく。モルテンヒースの火山では、ドラゴン達が略奪してきた宝の山の上で眠っている。オークの部族は危険なブロークンプレインで繁殖している。空高くそびえるダンワー山脈の奥深く、ドワーフ達は英雄的な祖先のために素晴らしい記念碑を刻んでいる。アインヘリンの森の緑は国々をまたいで広がり、あらゆる種類の魔法生物とラタリエルフ達の住み処となっている。そしてデーモンに取り憑かれたルーダークランドからは、ウスクイランの復活した野蛮人どもの群れがやってくる。

世界の多くの部族や国には長い戦争と平和の歴史がある。大きな危機の時には、彼らは共通の敵に対して協力しあうこともある～あるいは日和見主義的にその軍隊を新興勢力の背後に隠す。比較的平和な時代には、それは問題にもならず、それが戦争を引き起こすこともない。時には、内部の意見の相違が吹き出して、国や部族は彼ら自身で戦うことさえある。

世界はここ数十年で主に平和であった。しかしそれは変化している、しかも迅速に。

## 3度の暗黒戦争

### I: イナゴの大群

1000 年以上前、ロスカールの遊牧民の部族はテリノスの東にある緑のルー平原をさまよっていた。彼らは静かで慎ましい暮らしをしていたが、あるときロバー・ルトヌという権力亡者のシャーマンが生者の世界の彼方から来たデーモンの軍勢と協定を結んだ。彼は部族の者たちをだまして、デーモンの血を飲んで自分たちの肉体を汚染させた。その結果生じた怪物達は、ロスカールの他の全ての部族をすぐに滅ぼしてしまった。

カーリの言葉では、ロバーの軍勢のことをウスクイラン、すなわちイナゴの群れと呼ぶ。彼らはあまりに数が多い。そしてロバーは自分の軍を強化するために、ドラゴン、オーク、アンデッド達と同盟を結んだ。じきに、ウスクは東から押し寄せて、テリノスの地を荒廃させ、全世界を暗黒に陥れた。

ロバーの甥のティモラン・ロカンダールはロス・カールの破壊を生き延びて、南の地に逃げた。そして、ウスク

との戦いが敗北に終わると見えたその時に、彼は謎の魔法軍団を招集して、亡命から戻った。ティモランは、その偉大な同盟を主導してウスクを破壊し、世界に秩序を取り戻した。ワイカル・スマリオンやテリノスのダカン王などの偉大な英雄達はそれらの戦いの中でのその名前を歴史に刻んだ。そして世界は、それ以上に偉大な正義と公正の同盟を見ることはなかった。

## II: 裏切り者ワイカル

ティモランは、将来の世代に彼の魔法力を残すため、純粋な魔力の巨大結晶であるスカイオーブを作成した。テリノスの男爵である彼の旧友ワイカル・スマリオンはその計画に反対し、オーブを自分のものにしようとした。絶望したティモランはオーブを粉碎し、その何千もの破片を世界中にばらまいた。ワイカルはそれに怒り狂って旧友を殺し、自分が「ティモランの破片」全てを手にするまで決して休まないことを誓った。死でさえも、「不死のワイカル」のクエストを妨げることはできないだろう。

アンデッドの戦士達からなる軍隊を率いたワイカルは、テリノスを第二の闇の時代に突入させた。何年もの間、裏切り者ワイカルは自由都市と男爵領に黒魔術の死のカルトを浸透させ、男爵の警戒が弱まるまでに内部からテリノスを弱体化させた。そして彼は自分の軍隊を率いて、整然かつ壮大な征服戦争に乗り出し、「破片」を探し続けた。だがケロスとその癒やしの炎カルトの台頭だけがアンデッドの攻撃を鈍らせ、最終的にワイカルと彼の死の軍団は霧に覆われた呪われた男爵領に追いやられた。

## III: ドラゴン戦争

ティモランの破片は、ティモランの弟子たちによって選ばれた、知識に優れた世界中の貴族と王族達に委ねられた。だが何世代にもわたる平和の後、いわゆるエルダーキング達は破片の力を使い始めた。この魔法で、彼らは素晴らしい都市と記念碑を建造し、臣民達に富と繁栄をもたらし、そして彼らの王国の地形まで作りかえた。

しかし、この傲慢さは破片を自分の物にしたがるドラゴンたちの注意をひいてしまった。モルテンヒース（溶けた荒野）の岩だらけの火山から彼らは来た～ハイロード・マーガス、ジル・ザ・ブラック、レビラックス、その他多数が。これらの野心的で狡猾なドラゴンロード達は全てのドラゴン族の中でも最も強力な者たちだった。そしてドラゴンレックスとシャーリーナだけが彼らの中で上位に位置していた。ドラゴンロード達は彼らの軍隊を拡大するため、ドラゴンハイブリッドを育て、破片を宝物庫にしまい込んでいる全ての国々に対して戦争をしかけた。ダンワール、テリノス、アイムヘリンでさえも、彼らの力の前に敗れた。

ドラゴンロード達はどこへ行っても、自らの財宝に追加するために破片と他の無数の宝物を略奪した。

ドラゴンロード達の中の何体かは、破片をさらに細かく砕いて、ドラゴンルーンをそれに刻み、そのパワーを単一の目的に集中して使えるようにした。ティモランの破片の本来の力を解き放つことができるのは才能ある魔術師だけだが、これらのルーンバウンドシャード（ルーンで抑制された破片）は誰でも使うことができる。ドラゴンロード達はこれを部下たちに与え、その軍隊が強力な魔法を使用できるようにした。

すべての自由な人々の同盟は、歴史上初めてオークも参加したが、ドラゴンロード達に対して絶望的な戦いのため結集した。だが、究極的にドラゴンたちをモルテンヒースに追い返すことができたのは、ドラゴンレックスの介入のおかげであった。ドラゴン達は、盗んだ財宝を大量に抱えて逃げていった。

## ヒューマン

### ダカンの男爵達

ダカン王の死後、テリノスの王位をつぐべき後継者はいなかった。代わりに、ダカンの生き残った男爵評議会は共同で王国を統治することに同意した。毎シーズン、これら共同支配者達は、テリノスの古の首都、アルコールの城塞(Citadel)で会合する。そこで、彼らはその時の重要な問題について話し合い、単一の男爵領が自分自身で対

処できない課題に直面している時は団結する。

個々の男爵領はほとんどの点において独立した国であり、それぞれが独自の軍隊と独自の法律をもっている。ただし、城塞はすべての男爵領に影響を与える問題につき責任を持つ。そして各男爵領は城塞と評議会を維持し保護するために戦士と金を寄付している。

#### 城塞の巡察官達

テリノスの各領主とギルドには独自の法律を作成して施行するための大きな自由があるが、それでもテリノスのすべての市民を拘束する正義と先例という原則が存在する。コモンローと呼ばれるこの法律は、最も低い地位の農奴でも一定の自由があり、最高位の領主であっても誠実に行動しなければその結果に苦しむことになることと定めている。城塞の巡察官は、コモンローを守ると誓ったナイト達である。武器の妙技と土地の法律を教える厳しい訓練の後、巡察官は王国の隅々まで歩き回り、行くところ全てに正義をもたらすように権限を与えられる。恒久的な治安判事がいない遠隔地のコミュニティで、時にはウォーハンマーや剣で彼らの判決を強要することもあるが、ほとんどの場合は、彼らは中立的な仲裁人または旅行裁判官としての役割を果たし、紛争を解決している。

#### 自由都市群

テリノスの政治権力のほとんどは封建領主達に属しているが、自由都市群の巨大な経済力は、評議会でさえ彼らの欲求を無視できないことを意味している。8つの自由都市は法的にはいずれの男爵領の一部でもないが、彼らは評議会に忠実であり、その法律に拘束されている。

それぞれの自由都市には独自の特徴がある。フォーシン男爵領の境界内にあるフロストゲートは、北の氏族たちの精神的、政治的中心である。フォージはドワーフとテリノスで最高の鍛冶屋達の根拠地である。そしてグレイヘブンは大学の本拠地であり、最高のルーンマスターとウィザード達を訓練している。しかし、これらの自由都市は周囲の田舎の男爵領と比べると、どれも大きく活気に満ちた経済的大国である。これらの都市で商人階級が富と権力を獲得するにつれ、彼らの台頭は封建的義務に基づく古い伝統を揺るがしている。

#### エルフ

##### エモリアルとラタリアーナ

エルフ達がまだ天空に住んでいたとき、最も偉大だったのはエモリアル卿とラタリアーナ夫人であった。当時、エルフは光と空気を支配し、彼らの領域のエッセンスそのものによって生かされていた。しかし、時間が経つにつれ、ラタリアーナはより多くを欲しがるようになった～彼女は生命と夢の領域を支配することを切望した。それはファーストだけに属していた力であった。

エモリアル卿はファーストに立ち向かい、彼の妻が切望した力を要求した。ファーストは彼を追い出した。そこで卿は自分の民を集め、ファーストの本拠地を襲って力によって彼らのパワーを奪おうと進軍した。しかし、エルフ達は目標には到達できなかった。その代わり、彼らはフィルムドラケム、すなわち生者の世界に現れてしまったのだ。

ラタリアーナは、インフェルナエル内の影の勢力によって悪へと誘惑されていたが、自分の過ちを深く後悔した。彼女は己の悲しみから 11 粒の魔法の涙を生み出した。それらの涙はジェムストーンとなり、今でもエルフ達の宝となっている。懺悔の中で、彼女は空へと運ばれ、世界で最初の星となった。そこで彼女が発する光は、エルフ達にとって、いつか帰るべき天空への道しるべと約束を表すものとなったのである。エモリアル卿は、彼の行いとして、自分の民を 11 の部族に分割し、各族長にラタリアーナの涙を 1 つずつ与えた。そしてインフェルナエルに下っていき、そこで闇の勢力と戦った。

## ラタリエルフ

ラタリはラタリアーナ自身にちなんで名付けられたが、今でもエルフが最初に世界に入った時の場所に住んでいる。ラタリエルフは全てのエルフの部族の中で最も重要な存在である。アイムヘリンの大森林にある彼らの本拠地であって、ラタリはそのすべての面でインフェルナエルに敵対している。エオロムの貴族は偉大な青空都市リテリンの青空の下に住むが、一般的なエルフであるヴェルダラムの大部分は森の緑の枝の下に住んでいる。森に住む仲間達とともに、エルフは注意深く国境をパトロールしている。ほとんどの場合、森の外には出ようとはしないが、勇敢かつ大胆な一部のエルフは、悪の軍勢がいるところであればどこにでも行き、戦いを挑んでいる。

## 闇の涙

マルカリ族の長であるマルコーンは、約束されたエルフの救済は嘘だったと信じさせられた。彼は自分の部族の「涙」を利用して、世界を取り巻く障壁をこじ開け、ファーストに戦争を仕掛けようとした。しかし、彼の涙は汚染され、彼の部族は没落した。闇の涙戦争は、デーモンと腐敗を世界にもたらした。

## ドワーフ

### ドワーフの大脱出

ずっと前、ドワーフ達はモルテンヒースの火山の間に住み、ドラゴンに食べられないよう気をつけながら、噴石や岩石から得られる栄養でかろうじて生きながらえていた。だが、あるとき大胆なヘルカという1人のドワーフが、ドラゴンロードの怒りに勇敢に立ち向かい、彼らの魔法のルーンの秘密を盗んだ。そしてルーン文字の力はドワーフ達に文明を築かせた。しかし、ドラゴンは嫉妬深くて執念深く、ドワーフに戦争を仕掛けた。ドラゴンロードはドワーフ達をモルテンヒースからテリノスの北の国境にあるダンワー山脈に追いやった。だが、そこでドワーフ達は山頂の下に素晴らしい王国を築き上げた。

ダンワーのドワーフは山の砦であって自分たちはドラゴンの復讐から安全であると信じていたが、第三の暗黒戦争の時代にドラゴンロードの怒りは彼らにも降り注いだ。多くのドワーフの都市が破壊され、ドワーフの王ディープロードの血筋は完全に途切れた。ドラゴンの軍勢はそれでようやく静まったのである。

### ダンワーギルド

ダンワーのギルドはドラゴン戦争以来の山の王国の政治の中心地になった。各ギルドは、ドワーフ社会に不可欠な単一の職種の職人と親方からなる。そして公認された10のギルドはそれぞれが、ドワーフの次の王または女王を選出する際に同じ1票を持っている。石工、鉱山労働者、職人、鍛冶屋、醸造業者のギルドがダンワーの職人と労働者の大部分を占めている。一方、戦士、レンジャー、探検家、商人、そしてルーン彫刻師のギルドは、より専門的な工芸品や探求に専念している。法律で許可されたギルドは10しかないので、錬金術師リーグのようなその他の勢力は、いつか既存のギルドに取って代わり、10のギルドメンバーに仲間入りことを望んで、常に名声や地位を得るのに苦労している。

各ギルドは互いの知識と力に嫉妬している。彼らは秘密を自由に共有しない。メンバーシップは、ギルドマスターの信頼を得た人だけに与えられる。

## フォージ

フォージの自由都市は、大脱出の際に最初にドワーフによって定住された。当初はイルスウライトフォージと呼ばれる神社で、街はドラコニックルーンの「贈り物」を称えるためのドワーフの巡礼者達の目的地として機能していた。ドラゴン戦争の間、ドラゴンに占領されたが、その後人間の貴族、レディ・イスベットによって解放された。それ以来、フォージは人間とドワーフの人口が混在するテリノスの自由都市である。ダンワー社会を反映

してフォージには独自のギルドがあり、彼らの山の従兄弟の偉大なギルドとの緊密かつ非公式な関係を維持している。

## キャットフォーク

その名前が示すように、キャットフォークは猫のような目と特徴を備えた猫型のヒューマノイドである。かぎ爪のある手と足は、彼らを優秀な登山家にする。また彼らの優れた嗅覚と聴覚、そして暗闇で見ることができる視力は、彼らを驚異的なハンターにする。

テリノスで一般的に見られる唯一のキャットフォークはハイリンクスと呼ばれ、その小柄な体格とふさふさの耳は、フォーシンの北の森で見られるオオヤマネコに似ている。ハイリンクスのコミュニティは遠く人里離れた場所の森や山の谷間に見られる。キャットフォークは生きるためにかなりの量の肉を消費するので、少なくとも一世代に一度は、飢餓を経験する。これが起こるときの彼らの習慣は、未婚の成人やコミュニティが負担と見なす者を追放することである。リスキンと呼ばれるこれらの追放者は、世界で生きていく術を自分自身で見つけ、しばしば人間と一緒に暮らす。一部のリスキンはハイリンクスの社会に戻る手段を買うために金儲けを目指したり、他の追放者と共に新たな住み処を見いだす者もいる。だが、多くは二度と故郷に帰ることはなく、男爵領や自由都市で最後まで生きる。

## ドラゴンハイブリッド

ドラゴンハイブリッドは、ドラゴン戦争の際にドラゴンロードによって、彼らの軍隊の兵士として作成された。彼らの外見は個体によって大きく異なるが、その先祖であるドラゴンにかなり似ている。一部のドラゴンハイブリッドは飛行能力であれ溶鉱炉のような炎のプレスであれ、ドラゴンの特性も兼ね備えている。彼らの寿命はとても長いようで、ドラゴン戦争の頃に作られた最初の世代のドラゴンハイブリッドも 800 年を過ぎた今もまだ生存している。

強靱な肉体的特徴をもつ彼らは、傭兵、戦士、さらには盗賊として生計を立てている。彼らは長い寿命のおかげで、何でも容易に学ぶことができる。だが、その寿命のおかげで、彼らは短命の人間や他の人々とは大きく異なっている。

ドラゴンハイブリッドを最初に作成したのは、ドラゴンロードヴァリンドラだと信じられている。そして彼女は今でも、「グレートマザー」と呼ばれる。ドラゴン戦争で戦ったレビラックス、ゲヘンノール、その他のドラゴンロード達も、その術を学んだ。新しいハイブリッドを作成する能力はドラゴンロードだけが持っている。そのため、ハイブリッド自身は子どもを作ることはできない。おそらく、ハイブリッドが自分たちの都市や国家を持たないのはそれが原因であろう。ハイブリッドの故郷があるとすれば、それはモルテンヒースである。そこでは、多くのハイブリッド達が様々なドラゴンロードの派閥に使え、軍隊を形成している。